

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23年3月4日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470203245		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい草津		
所在地	広島市西区草津南1丁目6番12号 (電話) 082-501-4622		
自己評価作成日	平成22年2月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3470203245&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成23年3月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>利用者の皆様が「ここは私の家だよ」と言って下さるホーム。 一人一人の思い、持っている力、その人の人生・人格を尊重し、その人らしさを生かした生き生きとした安心できる生活の場を作っています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>このホームに隣接して「西部埋立第八公園」があり、「このホームのお庭は、『東京後楽園ドーム』の何倍もある広さです。」がご自慢。立派な門構えの広い邸宅をそのまま活用してのホーム開設で、豪勢な応接間をご夫婦用の居室に、客間を一人用の居室にと、閑寂な和風建築の利点を十分に活かした居住環境に工夫が見られる。◇和風の豪華な調度品に囲まれ、ご利用者が肩寄せ合って、穏やかに暮らしている姿は、昔なつかしい大家族の情景として目に映った。それを側でやさしく支える職員のかげの力が大きい。◇この地は昭和30年代までは、広島でも有数の漁村地帯、いまでも漁村の共助・互助の精神と人間関係の強い絆が温存されており、運営推進会議の開催においても、地域の有志が会場（漁労会館）の手配から日程の調整まで先決されるほど。地域住民と力を合わせ、地域に根ざした明るいホームの運営が特筆される。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を事業所内に掲げ毎日勤務者が唱和し、日々心を新たに実践に努めている。	法人の共通した理念がホームの玄関にも掲示され、ミーティングの際に職員全員で確認し合っている。また、このホームの環境に即した「家庭的な雰囲気と地域との結びつきを大切に…」を基本方針としたきめ細かいケアサービスの実践が見られる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の町内会に加入している。地域行事の祭りやとんど、ラジオ体操等に参加し交流している。	ホームとして地域の町内会活動（町内会役員など）に積極的に参加し、ごく自然な流れで地域との交流が深まっている。とくに、このホームのすぐ隣が公園で、朝のラジオ体操、昼には親子連れの散歩との出会いなど、世代間交流の最適の場ともなっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	玄関にホームでの取り組み、入居ご相談、個々の支援について掲示し地域の方々にも広報している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	取り組んでいる。その都度、ホーム内での出来事、職員の取り組み等を文書で配布し、ご意見を頂き参考にしていく。	このホームは、地域の協力体制が充実している。この町には、古くからの漁村の互助精神が根付いており、日程および会場の提供も町内会長らの先行で決められるほど。「いずれ、わしらも世話になるんじゃないか…」の方言も聞かれるとか。住民のみんなで、より優れたケアサービス提供への幅広い取り組みと討議の様子がよく伺えた。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	集団・実地指導の研修機会や、事業所のケアサービス等について協力を得ている。	市町が主催する認知症等の研修会には、積極的に職員を参加させ交流の機会を設けている。市の実地指導の際には、市担当者にホームのケアサービス向上について指導やアドバイスを求めるなど、積極的な協力関係の維持が見られる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>如何なる場面にあっても身体拘束はしない。「身体拘束排除宣言」を掲げ取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束排除」のケアを、法人内職員全員で、確認・宣言し、法人内全体研修および各ホームからの管理者会議等も通じてその浸透に取り組んでいる。</p> <p>玄関等の施錠についてもこのホームは、和風建築の転用でもあり、開放的な住環境となっている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修を毎年行っている。お互いに注意を払い見過ごさないよう防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修会に参加し学びました。実際に活用支援し活用されている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前に、相談・面接・見学を通して、しっかり話し合い、締結時に書類を作成し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関にご意見箱を設置。要望や意見を広く聞いている。職員のミーティング、運営会議で反映させている。</p>	<p>玄関に「ご意見箱」が設置されているが、日々の利用者・家族との密接なコミュニケーションを通じて積極的に要望・意見をくみ取りホームの運営に活かしている。</p> <p>最近では、玄関に面会簿に沿ってカレンダーの設置希望があり、その対応事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月に2回の管理者会議、年に2回の職員意向調査・面談を通して意見の反映させている	法人内全体で、年2回実施される「自己申告書」のほか、個別面談を通じて職員の意向・要望を吸い上げホームの運営に活かしている。最近の改善事例として、入浴設備バリアフリー化の改修等の取組がある。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	把握している。個々の目標の到達度や、介護福祉士、介護支援専門員受験援助をし、達成の場合褒賞している		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	年間研修計画を作成し実施している。社外の日総研の利用・キャリアパス等の研修の機会を確保している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	GHの県支部・全国GHの大会・研修、懇親会を通して交流している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入居2週間を重点期間として対応している。ここは安心の出来る場所とおもわれる関係づくりに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居時段階で、家族の意向をよく聞き、不安の解消に努めスムーズな関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前日までのサービス利用の把握をしている。他のサービスが効果的であれば支援している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	個々のやり方を尊重している。共同作業をし共生に心を砕いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時等、家族ともしっかりコミュニケーションを取りより良い関係で協力し支えあえう関係作りをしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	かかりつけ医・散髪屋・お寺・墓参り等に一緒に出かけている	本人や家族から、日々のふれあいを通じて馴染みの人間関係や場所を把握し、お寺、墓参りへの同行。男性の利用者には、懐かしい呼び方＝「散髪屋さん」にお連れするなど、利用者の時代感覚に応じた支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	テーブルの席やソファ等利用者同士の関係を考慮し決めている。利用者同士が関わりやすいよう職員が間に入って支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用者がお亡くなりになった後でも希望時、ご家族の相談を受けいる。入院退居時には日々面会、洗濯等支援をしている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前面談～入居後を通してアセスメントをしている。いかなる時でもまず本人としている	まず、入居予定者にホームに来所願望、居室などホームの雰囲気をよく見てもらう。次は法人側から代表とホーム長がご家庭を訪問し、本人、家族との生活状況の観察、情報交換を通じて、要望・意向を十分に把握し、入居後のケアに結びつけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前～後のアセスメントツールを使用しながら把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	把握に努めている。各々に適した一日を送って頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>センター方式を使用し本人・家族・介護者・主治医等が話合っ、アセスメントシートを作成し介護計画を作成している</p>	<p>センター方式（認知症介護研究・研修センターが開発したケアマネジメントシート）を活用して、利用者をはじめ関係者の意見要望を詳細に汲みとり、本人の現状に即した最適のケアプランが作成されている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の記録は個々の生活日誌に記録し、申し送りノートで情報共有し、CCを通して実践や見直しをしている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>墓参り・同窓会の同行、温泉旅行等、柔軟に対応している</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>支援している。早朝のラジオ体操、祭り、保育園児、中学生の職場体験、専門学校生の実習等を通して楽しんでいる</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人・家族の納得の上で、2週に1度往診がある。連絡を密にして支援している</p>	<p>協力医の定期的な往診の下、利用者の体調を十分把握し、状況に応じた柔軟な対応が見られる。とくに、代表者が看護師でもあり、医療連携の体制が強化されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	専属はいないが、社内の看護職員による個々に対応した支援がある		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に入居中の要約を書き情報提供し、面会を通して情報交換や入居相談を受けている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に方針を説明し、個々の必要に応じて、医師・家族、本人、運営者等が相談し方針を共有し支援している	法人の基本方針として、入居時に、終末期のあり方を本人・家族・医師との話し合い、合意に至れば支援も行うとしている。 このホームでも、これまでに最期までの看取りの事例も数例あり、葬儀を執り行ったこともある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的訓練はしていない。社内研修の中で、事故発生時・急変時等の対応は実践している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災訓練を年2回実施している。消防署にも通知している。本年は地域との協力体制を文書化した	年2回自主防災訓練を行い、消防署等にも通知されている。このホームの隣接地域は埋め立て地であり、今回の東日本巨大地震に関連して液状化現象への対応など、運営推進会議を通じて、なお一層地域との協力体制の強化を図って行くとのこと。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの人格と、人生を尊重し対応している	利用者一人ひとりの尊厳とプライバシーを大切に丁寧な言葉かけと心に寄り添うケアが実践されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	している。押し付けはしない。待つ姿勢を大事にしている。「待ってネ！」は言わない支援をしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりを尊重している。時間にこだわらない、見守りをしっかりと支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出時の衣服・お化粧品・帽子・スカーフ、美容院・理容院へのお出かけ、気遣いを支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	している。その人、その人の力に合った準備、切ることが出来る・まぜることが出来る・味見が出来ると等、一緒に共生している	食事メニューは、法人内7か所のホームで順番に考えるなど、食事を楽しむ支援が試みられている。たとえ同一のメニューであっても、ホームの実情に応じて食材の仕入れ、独自の調理法など工夫されている。 評価当日もおいしく調理されたお昼ご飯をみなさまと一緒に味わいました。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>経口摂取する物は，詳細に記録している。1日の摂取量の不足の場合，医師の指示で高カロリー食品の摂取等，一人ひとりの状態に応じた支援をしている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアをしている。歯ブラシ・ハミンググッド等個々に応じた物を使用している</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄経過を詳細に記録している。トイレ誘導やパット交換時生かされている</p>	<p>利用者の排泄パターンを職員全員で情報共有し，トイレ誘導を励行している。夜間でも，排泄パターンを参考にトイレ誘導やパット交換に心がけている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>起床時に牛乳，水を飲用し，繊維質の食事等個々に応じた対応をしている</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>月～土を入浴日にし，思い思いで利用して頂いている。冬至のゆず湯を始め色々と計画をして楽しんで頂いている</p>	<p>今回，入浴設備をバリアフリーに改修（色もやわらかいピンク色に統一）し，利用者の希望に応じれる，きめ細かい入浴支援が行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>布団を干したり、清潔なシーツ類・室温・匂い・騒音等に配慮し対応している</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>理解している。薬の処方時に必ず説明書、注意書を頂いて、必ず確認している</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>日々の生活中で個々の生活を支援している。趣味の編み物、時々ビール、食材の買い物、洗濯たため、絵を描く等支援している</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天候の良い日は散歩、公園に出かけられる。自分の買い物、温泉旅行（22年度は沖縄（2泊3日）廿日市（1泊2日）日々の食材の買出し、一緒に共同し支援している</p>	<p>このホームは、隣接して「西部埋立第八公園」と商業センターもあり、外出支援には最適の位置にある。昨年はJTBの協力を得て、法人内、7か所のホームの利用者がそろって沖縄旅行へ。近くは廿日市のアルカディアへと、家族の力を借りて、泊まり込みの外出支援を実現させている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>自己管理の出来る方はご自分で、そうでない方は手許金預かりで使えるように支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人が電話の希望された時、家族からかかってきた時、何時、何処でも、子機を利用して使用できる。毎日書き取りノートで、住所・氏名や文章を書く支援をしている		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	夏・冬の温度調整、カーテン等利用して日除け、消臭剤、雑巾がけでの清潔、刺激の除去、季節の花や飾り等工夫している	このホームは、門構えの和風建築の邸宅をそのまま転用しての開設。広い玄関、廊下、居間もすべて贅を尽くした造作で、落ち着いた和風の居心地の良さを醸しだし、入居者も穏やかな表情を見せている。障子を開ければ築山のある庭から四季の変化も眺められる快適な住環境にある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個々にあった居場所や、ソファ等で談笑されている。場所等工夫している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室はその方のお家ととらえていることを入居時に説明し、ご相談しながら持参されている。お仏壇、ダンス、鏡台、等々工夫している。	「居室は、ご利用者の自分の家＝おうち」として、高級素材で造作された和室に、各利用者がこれまでの生活で使い慣れたもの、大事にしてきたものを持ち込み、各人の生活スタイルに応じた配置がされている。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室にはネームをかけ、トイレ・浴室等には分かるように表記している。低い段差にもスロープを付けている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない